

# 縦書きとTEXサンプル

武産 合氣

初段取得時に小論文を $\text{\LaTeX}$ で書きたい人向け。めんどくさい人はオフィスツール、または、手書きで。小論文は原稿用紙(縦書き)を使用すると思う。 $\text{\LaTeX}$ のマクロである $\text{\LaTeX}$ は基本横書きだが、縦書きも一応できる。 $\text{\LaTeX}$ で書くメリットはいくつかある。

$\text{\LaTeX}$ は体裁の調整が面倒。逆に言えば、体裁さえできていればあとは文とか数式を書くだけなので、ワードのように書いてる最中に体裁をいちいち考える必要がない。(要は、この説明文を書き換えれば小論文が書けます)文字サイズやフォントが勝手に変わったりもしないし、クラッシュしてデータが消える恐れも少ない。とまあ、メリットはこのくらいにして以下に説明を書く。

縦書きサンプル文。 $\text{\LaTeX}$ とかの数字はそのまま横書きになる。一応以下のように、「14」と書くこともできる。縦書きが基本の場合に横書きとなる。他にもいろいろ使い方があるのでソースのURLを参考にするとうい。

なお、このサンプルは $\text{\TeX}$ Live2017の環境下で作成した。 $\text{\LaTeX}$ での実行を前提としているため、それ以外の動作は保証できないのであしからず。 $\text{\LaTeX}$ での $\text{\LaTeX}$ 作成時にそのまま実行すると文書がおかしくなる(図1)ので、ソースのコンパイル方法を参考にしてほしい。

最後に、初段取得時は小論文を提出するのが普通なので、必ず書きましょう。

なお、このサンプルは $\text{\TeX}$ Live2017の環境下で作成した。 $\text{\LaTeX}$ での実行を前提としているため、それ以外の動作は保証できないのであしからず。 $\text{\LaTeX}$ での $\text{\LaTeX}$ 作成時にそのまま実行すると文書がおかしくなる(図1)ので、ソースのコンパイル方法を参考にしてほしい。

図1 失敗例